

ふくしの

第173号
平成23年3月1日発行

鹿児島

ふれあいネットワーク
<http://www.kaken-shakyo.jp/>

むろば



地域ジュニアふれあい体験 (本文8頁)

特集

障害者が普通に暮らせる地域づくりを目指して!! … 2・3

地域福祉部第一線

「ふれあい・いきいきサロン」&「子育て支援団体」の活動実態調査 … 4

《地域と共に手をつなぐボランティア》

児童・生徒のボランティア活動啓発モデル事業 … 5

長寿社会推進部情報

福祉用具で安心安全な生活を …… 6

シルバー文化作品展入賞作品提供

福祉人材・研修センター情報

福祉職場で働く人の福利厚生を支援します …… 7

介護実習・普及センター情報

地域ジュニアふれあい体験 …… 8

なのはな館からのお知らせ

草野 仁氏が講演 …… 9

長年のご愛顧に感謝! …… 9

施設福祉部情報

各種別協議会からのお知らせ …… 10

《県共同募金会からのお知らせ》

赤い羽根共同募金運動スタート …… 11

インフォメーション …… 12

特集

障害者が普通に暮らせる地域づくり を目指して！！

鹿児島県社会福祉協議会では、昨年度に引き続き、平成 22 年度においても鹿児島県から障害者自立支援総合対策事業の一部を受託し、県全体の障害者相談支援体制整備等の支援を推進しているところです。

I 鹿児島県障害者自立支援協議会の運営

鹿児島県では、平成 20 年 3 月 26 日に、県全体の障害者相談支援体制整備の協議の場として『鹿児島県障害者自立支援協議会』を設置し、当会がその事務局の運営を行っています。

委員は、相談支援事業所・雇用・教育・医療・行政・その他関係機関の代表 19 名で構成され、市町村が行う相談支援体制の支援や地域自立支援協議会の運営・立ち上げ及び人材育成・研修のあり方等について協議を行っています。



II 地域自立支援協議会立ち上げ・運営への特別アドバイザーの派遣

障害者が地域で安心して生活するための相談支援体制整備を推進するため、先進地である滋賀県から特別アドバイザーを招聘し、県内各地区を巡回して、圏域及び市町村ごとの相談支援体制の整備や地域自立支援協議会の立ち上げ・運営等についての支援を行っています。

平成 22 年度は、重点支援地区として 3 地区（鹿児島市、日置市、奄美地区）の地域自立支援協議会の運営等について、巡回指導・支援を実施しました。



鹿児島県内における地域障害者自立支援協議会の設置状況（平成 22 年 12 月末現在）

圏域	協議会名	構成市町村	設置年月日	未設置
鹿児島	鹿児島市障害者自立支援協議会	鹿児島市	平成 20 年 5 月 22 日	三島村、十島村
	いちき串木野市地域自立支援協議会	いちき串木野市	平成 20 年 3 月 19 日	
	日置市地域自立支援協議会	日置市	平成 21 年 3 月 25 日	
南薩	指宿市地域自立支援協議会	指宿市	平成 19 年 3 月 1 日	枕崎市
	南さつま市地域自立支援協議会	南さつま市	平成 19 年 10 月 1 日	
	南九州市地域自立支援協議会	南九州市	平成 22 年 2 月 19 日	
北薩	薩摩川内市障害者自立支援協議会	薩摩川内市	平成 22 年 3 月 10 日	阿久根市、出水市、さつま町、長島町
始良伊佐	始良市地域自立支援協議会	始良市	平成 22 年 3 月 23 日	湧水町
	伊佐市障害者自立支援協議会	伊佐市	平成 19 年 6 月 1 日	
	霧島市障害者自立支援協議会	霧島市	平成 22 年 3 月 29 日	
大隅	志布志市地域自立支援協議会	志布志市	平成 19 年 3 月 27 日	鹿屋市、垂水市、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町、大崎町
	曾於市地域自立支援協議会	曾於市	平成 22 年 3 月 9 日	
熊毛	種子島地区自立支援協議会	西之表市、中種子町、南種子町	平成 22 年 7 月 15 日	屋久島町
大島	奄美地区地域自立支援協議会	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町	平成 22 年 4 月 22 日	喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町

設置済み：14 市 4 町 2 村（14 地域） 未設置：23 市町村（設置率：47%）

III 障害者を支援する障害福祉人材育成研修の開催

それぞれの地域で、障害者の日常生活の相談支援等を行う方を養成するとともにサービスの質の向上を図るため、障害福祉人材育成研修を開催しました。

① 相談支援従事者初任者研修

障害のある方の相談支援に従事するためには、一定の実務経験と併せて、障害者ケアマネジメント手法や地域生活支援に関する知識等を習得するための研修（5日間）を受講することが必要です。

平成22年度は61名の方が受講され、研修修了者に対して、鹿児島県知事の修了証書を交付しました。



② 相談支援従事者現任研修

障害のある方の相談支援に従事する者は、相談支援従事者初任者研修を修了後、修了年度の翌年度から5年度毎にこの研修（3日間）を受講することが必要です。

平成22年度は36名の方が受講されました。



③ サービス管理責任者研修

障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスを実施する事業者は、個々のサービス利用者の初期状態の把握や個別支援計画の作成、定期的な評価などの一連のサービス提供プロセス全般に関する責任を担うサービス管理責任者を配置する必要があります。

サービス管理責任者となるには、一定の実務経験と併せて、「相談支援従事者初任者研修」の一部のカリキュラムの修了及びこの研修の受講が必要です。

平成22年度は、各分野合わせて、296名の方が受講され、研修修了者に対して、鹿児島県知事の修了証書を交付しました。



④ 行動援護従事者研修

知的障害又は精神障害により行動上著しい困難があり、常時介護を要する方が行動する際に生じ得る危険を回避するために必要な援護、外出時における移動中の介護等に関する知識及び技術を習得するための研修です。

平成22年度は21名の方が受講され、研修修了者に対して、鹿児島県知事の修了証書を交付しました。



名称	研修区分	開催日	期間	場所	参加者	
相談支援従事者研修	初任者	前期	9月2日(木)～3日(金)	2日間	自治会館	178名
		後期	9月28日(火)～30日(木)	3日間	県青少年会館	61名
	現任	2月14日(月)～16日(水)	3日間	県社会福祉センター 県青少年会館	36名	
行動援護従事者研修	行動援護	10月19日(火)～21日(木)	3日間	県中央児童相談所	21名	
サービス管理責任者研修	全体	12月1日(水)	1日間	自治会館	169名	
	分野別研修	知的・精神	12月2日(木)～3日(金)	2日間	県青少年会館	76名
		介護	12月7日(火)～8日(水)	2日間	県青少年会館	62名
		就労	12月9日(木)～10日(金)	2日間	県青少年会館	78名
		身体	12月14日(火)～15日(水)	2日間	県社会福祉センター	36名
児童	12月21日(火)～22日(水)	2日間	県社会福祉センター	42名		
(計)			22日間		延べ759名	

県内の「ふれあい・いきいきサロン」及び「子育て支援団体」の活動実態調査を実施しました



地域で暮らす高齢者や子育て中の人たちなどを対象として、地域住民が身近な場所で気軽に楽しく過ごすサロン活動は、仲間づくりや居場所づくりの場として、全国に広がっており、県内ではあわせて1,500か所を超える高齢者や子育てのサロンが活動しています。

そこで、当会では、平成22年度県内のサロン活動の実態について調査いたしましたので、その概要をご報告します。

ふれあい・いきいきサロンの活動状況



調査時期：平成22年8月～9月
調査方法：サロン運営者へ郵送
回収数（率）：1,074か所（78%）

ふれあい・いきいきサロンは、高齢者を対象とした自主的な活動であり、県内で1,145か所のサロンが活動しています。また、この他に同様な取り組みとして鹿児島市では市の事業として『お達者クラブ』の活動が231か所で行われています。 **グラフA-1**

サロン運営者の立場としては、鹿児島市では「健康づくり推進員」、他の地域では「ボランティア」が最も多く、「老人クラブ会員」「民生委員」の方も多くいらっしゃいます。

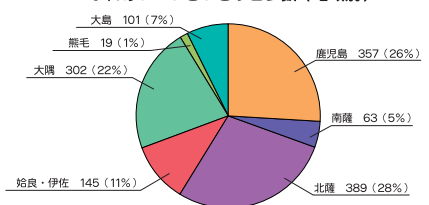
活動回数は、「月1回」が半数を占め、次いで「隔週（月2回程度）」「隔月（年6回程度）」が多くなっています。利用者の平均年齢は「75～79歳」となっています。

活動内容は、食事やレクリエーション、カラオケなど多彩ですが、その中で参加者が楽しみにしている活動は **グラフA-2** のとおりとなっており（上位5位）、「おしゃべり」が参加者のなによりの楽しみとなっているようです。

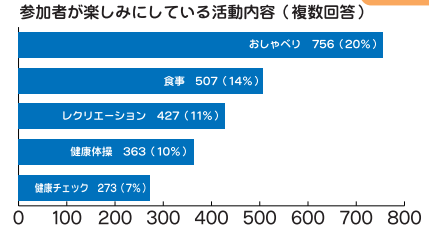


活動の課題として、「男性の利用者が少ない」が最も多く、次いで「補助金等の継続・拡充」「勧誘してもなかなか参加してもらえない人がいる」ことが挙げられています。

グラフA-1 ふれあい・いきいきサロン数（地域別）



グラフA-2 参加者が楽しみにしている活動内容（複数回答）

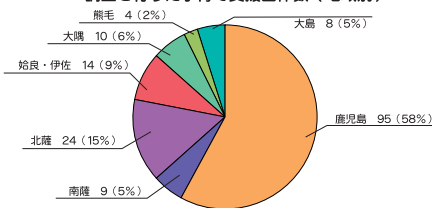


子育て支援団体の活動状況

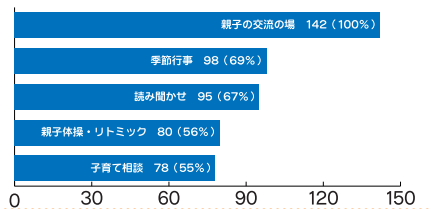


調査時期：平成22年7月～8月
調査方法：団体代表へ郵送
回収数（率）：141か所（86%）

グラフB-1 調査を行った子育て支援団体数（地域別）



主な活動内容（複数回答）



→その他（おもちゃ作り、外遊び、ママのリフレッシュ講座、育児勉強会や講演会など）

平成22年7月から8月にかけて、県内でインフォーマルな子育て支援を行っている子育てサロン、育児サークル、母親クラブ等、164か所に対して活動実態調査を行い141か所から回答がありました。 **グラフB-1**

その結果によると活動の運営母体は、「市町村社協」が最も多く、鹿児島市では、47校区社協において児童委員等が中心となり、子育てサロンを運営しています。その他は「自主育児サークル」、「母親クラブ」、「生協」等となっています。

主な活動場所としては公民館や福祉館、支援センター・保健センターなどの「公共の福祉施設」で、住民が気軽に足を運びやすい場所で実施されています。

また、活動回数や時間帯は「毎月1回」が最も多く、開催時間は「午前中」がほとんどで、親子が参加しやすい時間帯となっているほか、参加者数は、1回当たり平均で「20人程度」が最も多く、小規模数から、50人以上の大人数で活動しているところもあるなど、幅広い活動を行っています。

主な活動内容は、 **グラフB-2** のとおりです。

活動の課題や問題点としては、「活動財源の確保」や「ボランティア・後継者不足」、「活動内容のマンネリ化」などが挙げられました。

問い合わせ先

～この調査は鹿児島県の公募型雇用創出事業で実施しました～ ※調査結果については、当会ホームページに掲載します

鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 TEL: 099-257-3855

ボランティア
ポイント制度

「児童・生徒のボランティア活動啓発促進モデル事業」

薩摩川内市、伊佐市、垂水市を指定



県社会福祉課・県社協との意見交換会で事例発表の薩摩川内市社会福祉協議会内野久子地域福祉課主任

鹿児島県社会福祉協議会は市町村社会福祉協議会と連携協力し、ボランティアやボランティア団体の育成を図るため、学校の教職員や児童・生徒、市民を対象に「福祉ボランティアリーダー研修会」や「サマーボランティア体験月間」事業、「ボランティア協力校」事業など、地域福祉の担い手育成に取り組み成果をあげています。

さらに次代を担う児童・生徒がボランティア活動に取り組むきっかけづくりと定着を図るため、平成22年度から2年間、鹿児島県の補助事業で、「児童・生徒のボランティア活動啓発促進モデル事業」に取り組んでいます。このモデル事業は、薩摩川内市、伊佐市、垂水市を指定し、ボランティア活動に参加する児童・生徒に「ボランティアカード」を配布し、活動に応じてポイントを付与する「ボランティアポイント制度」を導入し活動しています。

薩摩川内市では

平成22年6月下旬に活動対象を6地区選定し、地区コミュニティ協議会、学校、福祉施設等の協力機関に事業説明をしました。また、ボランティアセンターのあり方検討委員会の提言を受けて、7月には広報活動の一環としてチラシを作成・配布し、8月から具体的な活動が始まりました。

対象地区の小中学校は7校で、1,008名の児童・生徒が希望し学校外でのボランティア活動時に「ボランティアポイントカード」を携帯し活動に参加しています。

地域福祉課の内野久子主任は「児童・生徒のボランティア活動への関心を高めるには、保護者や学校を始め関係機関・団体との協力体制づくりが必要で、参加した子供たちの笑顔に心が和み、将来は市民ぐるみの運動として活動の輪を広げたい。」と話しました。



ボランティアカードを提出する子供たち
(薩摩川内市)

伊佐市では

小・中学校の児童・生徒を対象に3地区、高校生は市全域で取り組み、現在、156名が昨年の8月から活動しています。学業や部活動で多忙な高校生も、ボランティア活動に参加しているのが特徴です。新原明美ボランティアコーディネーターは、「今後、小中学生と高校生と一緒に活動が出来るようになれば、大変うれしいです。」と意欲を語りました。



デイサービスセンターで活動する子供たち
(伊佐市)

垂水市では

垂水市の特徴は、教育委員会と社会福祉協議会が連携協力して、平成8年に結成したボランティア少年団を中核に、活動領域が市内全域で、ポイントの付与を「修行中」、「一人前」、「師範級」の三段階に分けてユニークな活動を展開していることです。松浦浩二次長は「現在、1,130名の子供たちが活動に参加しています。全員が30ポイントの師範級認定を受けてほしい。」と話してくれました。



「ボランティア活動認定証」師範級第1号
の垂水高2年杉之尾美里さん

◆問い合わせ先◆

薩摩川内市社会福祉協議会

〒895-0005 薩摩川内市永利町4107-1 薩摩川内市総合福祉会館内
TEL 0996-22-2355 FAX 0996-22-1841

伊佐市社会福祉協議会

〒895-2701 伊佐市菱刈前目711-1 菱刈総合保健福祉センター内
TEL 0995-26-4120 FAX 0995-26-4783

垂水市社会福祉協議会

〒891-2104 垂水市田神11-1
TEL 0994-32-6277 FAX 0994-32-2634

福祉用具 で安心安全な生活を!!

年をとると足腰は弱くなり、視覚・聴覚もおとろえ、反射神経にもぶくなります。また、骨はもろくなり、ちょっとしたことで骨折しがちです。

そのため、高齢者は転倒すると骨折によりそのまま寝たきりになるケースが多くなります。要介護老人になる原因では、脳卒中に次いで多いのが転倒・骨折だといわれています。

当会の福祉機器展示相談センターには、こうした転倒を防止したり転倒しても衝撃を和らげるなど安全な生活を送るために効果的な福祉用具を展示しています。今回は安全な生活に役立つ福祉用具をご紹介します。

入浴介助ベルト

価格 9,450 円

高齢者の体にこのベルトを巻いて、介護者が抱きかかえて浴槽までの歩行や立ち上がりを補助する。ベルトには5つの持ち手がついており、どの方向からでもつかめるし、すべりにくい。乾きやすいポリエチレン製



頭部保護帽子

価格 7,455 円

一見普通の帽子だが、内側に衝撃防止材が入っており、転倒などの際頭を保護する。汚れた場合は手洗いし、陰干しすればよい。グレー・濃紺など4色がある。



滑り止めマット

価格 2枚1組 4,725 円

浴槽の下に敷いて、転倒などを防止する。立ち座りなどの際も安定性を増す。マットの裏側には吸盤が敷き詰められ、しっかり装着できる。シリコン製で洗いやすい。1枚 400円



蓄熱充電式湯たんぽ

価格 3,150 円

お湯の入れ替えがいらぬ湯たんぽ。コードは取り外し式なので、高齢者や子どもも安心して使える。低温やけど防止の保温袋付き 充電に必要な時間は約 20 分



衝撃吸収下着

価格 8,000 ~ 9,000 円程度

大たい骨への衝撃を和らげるパッドが入っており、万一、転倒しても重篤な損害防止には効果的。

男性用・女性用があり、サイズもいろいろ。



浴槽用手すり

価格 17,325 円

足腰に不安がある人向けの浴槽への出入りをサポートするための手すり。入浴中も内側に付いたグリップで体を安定させられる。

取り付けは簡単で、ハンドルを回して固定させる。グリップは握りやすい卵形で、湯気の中でも見やすい赤色などになっている。



☆☆☆シルバー文化作品展入賞作品の提供がありました☆☆☆

昨年9月に開催した第19回シルバー文化作品展の入賞者の方々に対し施設等への作品の寄贈・貸出をお願いしましたところ、次のような提供がありました。施設等からは感謝と喜びのことばをいただき、また、提供者の皆さんは名誉なことで励みになるとのことでした。

氏名	居住地	作品	氏名	居住地	作品	氏名	居住地	作品
有村 忠之	鹿児島市	洋画	竹添 悦子	南さつま市	洋画	北園 洋一	東串良町	洋画
池上 俊	〃	洋画	田中美智子	〃	〃	藤元美保子	〃	〃
柴田 純	〃	〃	山ノ口重治	〃	日本画			
瀬戸口 司	〃	彫刻	肝付 満雄	曾於市	彫刻			
野間 康則	〃	写真	須田 久	〃	〃			
山元 初江	〃	書	徳増 徳雄	〃	〃			
水流 静子	指宿市	洋画	外前田盛雄	〃	洋画			
片岡 妙子	日置市	書	藤田 征策	垂水市	写真			
安楽 麗子	南さつま市	洋画	瀧崎 龍峰	鹿屋市	洋画			

福祉職場で働く人の 福利厚生を支援します !!

魅力ある職場づくりにソウェルクラブがお役に立ちます。

福利厚生センター 〈ソウェルクラブ〉とは？

福利厚生センターは、社会福祉法に基づき「社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図る」目的で厚生労働省から指定された全国で唯一の団体です。
鹿児島県社会福祉協議会は、福利厚生センターの鹿児島事務局を運営しています。

1 福利厚生センターのサービス紹介

■全国 210,000 人の会員のスケールメリットを活かし、47 種類のサービスを提供しています。



結婚お祝い品・ 出産お祝い品贈呈

- ・会員が結婚した場合、会員または配偶者が出産した場合 1 人当たり 1 万円の商品券を贈呈します。
- ・全国で、結婚お祝い品 4,104 人、出産お祝い品、4,981 人に贈呈。(H 21 年度)



入学お祝い品贈呈

- ・会員の子どもが小学校、中学校に入学した場合に、1 人当たり 5,000 円の商品券を贈呈します。
- ・全国で 9,615 人に贈呈。(H 21 年度)



永年勤続記念品 贈呈

- ・勤続、5・10・15・20・25・30 年を迎えた会員へ 5,000 円～ 50,000 円相当の記念品を贈呈します。
- ・全国で、20,349 人に贈呈。(H 21 年度)

2 会員交流事業

■鹿児島事務局企画事業として、旅行、観劇、ゴルフ大会、テーブルマナー教室等安価な価格で参加できます。

ゴルフ大会

- ・プロ並みの腕前の方から、初心者まで楽しくラウンド。
- ・参加費 7,000 円
(土日料金、キャディー、食事込み)

22年度
15名参加



テーブルマナー教室

【県内 3 会場】

- ・一流シェフによる、フランス料理テーブルマナー教室。8,000 円相当の料理を安価な価格でご賞味 !!
- ・参加費 2,500 ～ 3,500 円

22年度
140名参加



上海万博ツアー 2010

【上海 3 泊 4 日旅行】

- ・上海万博開催に併せての上海旅行。ご家族の思い出づくりに !!
- ・参加費 46,800 円

22年度
21名参加



■平成 22 年度は、「木下大サーカス」「一青窈コンサート」「海援隊コンサート」「NHK 交響楽団鹿児島公演」「松竹大歌舞伎」「映画チケット」「花かごしま 2011」など各種チケットを格安にて販売しました。

3 加入について

■掛金は職員 1 人当たり毎年度 1 万円です。

■社会福祉事業に携わる常勤の役職員を始め、非常勤職員、嘱託職員、パートタイマー職員などの加入も可能です。

お問い合わせ

〒 890-8517 鹿児島市鴨池新町 1-7 (県社会福祉センター内)
社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター
福利厚生センター (ソウェルクラブ) 鹿児島事務局

TEL 099-256-6767

FAX 099-250-9363

E-mail jinzai@kaken-shakyo.jp

福祉人材・研修センターからお知らせ

「求職者のみなさん」「福祉に関心のあるみなさん」

インターネットで事業所・求人・資格取得等
情報が閲覧できます。

気軽にご利用ください。

福祉のお仕事

検索

ホームページ「福祉のお仕事」からアクセス

<http://www.fukushi-work.jp>

地域ジュニア ふれあい体験



「福祉のまち」に出かけてみませんか！

平成21年9月から、職員が県内の小・中・高・地域等に直接出向いて「地域ジュニアふれあい体験」を実施しています。

これらの体験を通して、学校や家庭・地域の中で困っている人を見かけた時に「自分には何ができるかな」と考えることができる人が増え、地域に思いやりの輪が広がるなど、助け合いながら心豊かに暮らしていける地域づくりが促進されることを願っています。



【車いす体験】 車いすを使う事でどのような事ができるのか、どのような不便さがあるのかを体験。

足が不自由な人にとって車いすは体や心の一部なんだということをととても感じることができました。

この体験をもとに体の不自由な人、ひざや腰の痛みとたたかいながら生活している高齢者のかたにやさしく接しようと思います。
(中3 Y子)

【高齢者疑似体験】 高齢（75歳～80歳位）になった時の身体的機能の低下や心理的变化を体感することで相手の気持ちを考える姿勢を学ぶ。

言葉だけで説明するのではなく体で体験することによって、子どもたちが納得して心にとめることができた貴重な体験だった。
(教職員 B先生)



【ユニバーサルデザイン体験】 生活に便利な道具や障害のある方の自立を助ける道具を身近に感じてもらう体験

現在、在宅介護をしているが、いろいろな体験が出来たことで、気持ちがとても楽になりました。

もっと時間があればいろいろな事が、わかり母に優しい気持ちになれるような気がしました。ありがとうございました。(保護者 A様)

平成22年度
体験実績

区分	学校数(校)	参加人員(人)
小学校	41	2,027
中学校	8	1,158
高等学校	5	674
その他(一般)	13	464
計	67	4,323

(平成22年4月～12月末現在)

地域の行事の一環として行ったり子ども会・親子会や地域の高齢者の皆さんの参加も歓迎です。

旅費及び謝金などの費用負担はありません。

お問い合わせ先

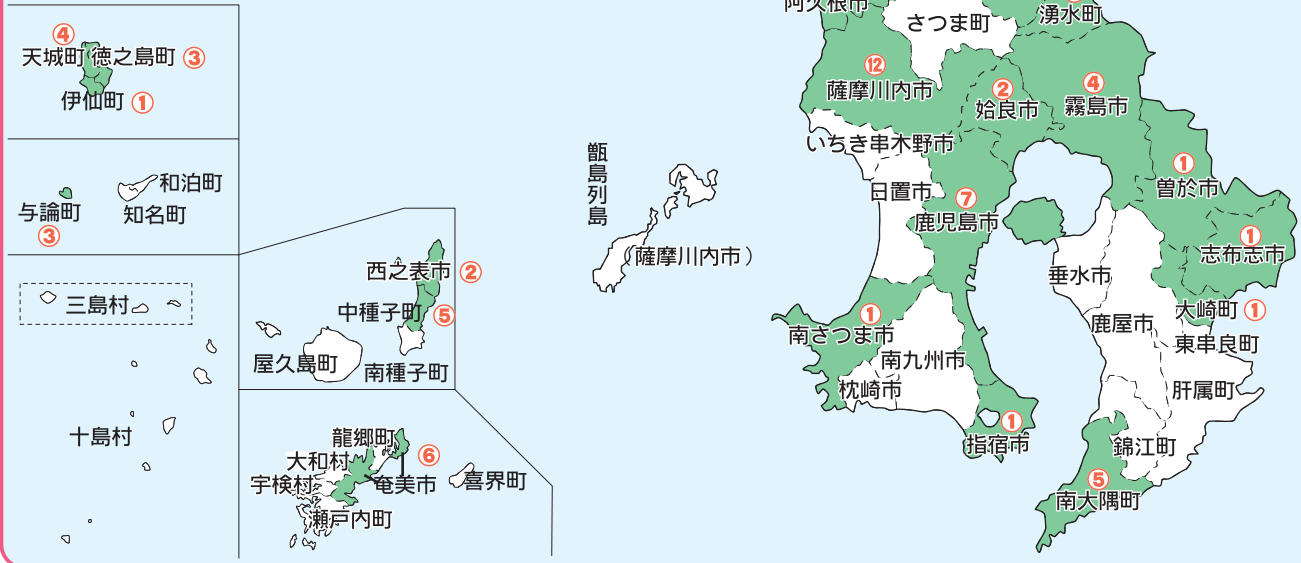
鹿児島県介護実習・普及センター

(運営：鹿児島県社会福祉協議会)

TEL 099-221-6615 FAX 099-239-0384

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号(かごしま県民交流センター内) E-mail kaigo2@kagoshima-pac.jp

平成22年度 地域ジュニアふれあい体験開催箇所 (12月末現在)



ふれあいプラザ なのはな館からのお知らせ

平成22年度の公開講座は、草野仁氏を講師に迎えて12月5日(日)に開催いたしました。

講演では、43年間のアナウンサーの経験から「誰でもその道に適性能力は持つており、挫折の2〜3回は誰もが経験する。それを乗り越えて挑戦することが大事である。また、物事を始めるのに年齢に阻害されるはならない。始めようとした時が適齢期である。そう思っていていつでもチャレンジ精神で行動してください。」と熱く話されました。

アトラクションでは、地元「指宿高等学校吹奏楽部」の皆さんが「また君に恋してる」「篤姫メインテーマ」等4曲を熱演、すばらしい演奏に会場からは大きな拍手が起こりました。



公演中の草野氏

平成22年度
公開講座
草野仁氏が講演
演題「いつもチャレンジ精神で」



なのはな館職員

これまで永年のご愛顧を頂き心から感謝しお礼申し上げます。

平成10年9月開館して以来12年余、私達鹿児島県社会福祉協議会が管理運営してまいりましたが、この3月末をもちまして休館することになりました。

開館以来「高齢者中央大学」では修了生を延べ1,976名送り出しました。その修了生は各地でリーダーとして活躍をされていらっしゃいます。そのほか当館への宿泊をされた方、諸施設、催し物等に300万人を超える皆様のご利用を賜りました。

ふれあいプラザ なのはな館
永年のご愛顧に感謝!

お問い合わせ先 指宿市東方 9300 番地 1 TEL0993 (27) 1221

施設福祉部内に 各種別協議会の事務局 が設置されています。

県内の児童福祉・障害者福祉・高齢者福祉の充実のため、事業内容の種別ごとに次の協議会が設置されており、会員施設等の連絡調整や研修などを行っています。

種別	事務局（協議会）名	会員対象福祉施設等	会員数	電話番号
経営者組織	県社会福祉施設経営者協議会	社会福祉法人（児童・障害者・高齢者福祉施設）	203 法人	099-257-9885
高齢者福祉	県老人福祉施設協議会	特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなど	376 施設	099-256-6789
	県地域包括・在宅介護支援センター協議会	地域包括支援センター、在宅介護支援センター	92 センター	099-255-8634
障害者福祉	県知的障害者福祉協会	知的障害者援護施設、就労支援事業所など	97 施設	099-256-6796
	県授産施設協議会	身体・知的障害者授産施設、就労支援事業所など	49 施設	099-257-1001
児童福祉	県児童養護協議会	児童養護施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設	16 施設	099-256-6789
	県母子生活支援施設協議会	母子生活支援施設	8 施設	099-257-3855
	県里親会	里親	43 世帯	099-257-3855

■今回は、次の各種別協議会から義援金およびプレゼントに対するお礼とお知らせがあります。

鹿児島県社協老人福祉施設協議会

《奄美豪雨災害に伴う義援金の御礼》

昨年10月20日から奄美大島を襲った豪雨により、奄美市住用町にある特別養護老人ホーム「住用の園」の裏山から施設内部に土石流が瞬間に流れ込みました。

職員と地域の方々の連携により、身動きのできない入所者さん達を助け出し、職員達は入所者の震える躰をさすったり、寒さを防ぐ工夫をするなど、献身的に関わることで、入所者全員が助かったことは、不幸中の幸いだったと思います。

現在、入所者の方々は、奄美大島内の13施設に本格的に受入をしていただき、生活を送られています。

本会では、「奄美豪雨災害義援金」として県内をはじめ全国からお寄せいただきました善意を「住用の園」へお届けしました。

義援金をお寄せいただきました施設利用者、施設職員、会員施設、各県協議会の皆様に心から御礼申し上げます。



裏山から土石流が流入してきた特別養護老人ホーム「住用の園」



児童福祉関係の各協議会

《プレゼントに対するお礼》

全国各地で昨年末から今年の1月にかけて、アニメ「タイガーマスク」やその主人公「伊達直人」などを名乗り、また匿名でランドセルや文具などのプレゼントが児童相談所や児童養護施設などに相次いで寄せられました。

本県でも数多くの方々・企業から様々なプレゼントが寄せられ、これらのプレゼントは児童養護施設・母子生活支援施設に入所している子どもや里子さんたちに渡されました。

プレゼントをくださった方々に心から感謝申し上げます。



鹿児島県授産施設協議会

《第28回全国都市緑化かごしまフェア『花かごしま2011』に参加》

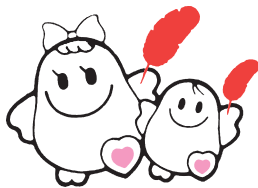
『花かごしま2011』が3月18日（金）から5月22日（日）までの66日間、メイン会場の「吉野公園」とサブ会場の「ふれあいスポーツランド」で開催されます。本会では、両会場の一角に、会員施設5ヶ所で栽培した花苗1万株（10種類）を2回に分けて植栽します。

また、会員施設3ヶ所で作製した木製のプランター200基を両会場に設置するとともに、鹿児島中央駅の正面階段に52基設置し、観光客を歓迎いたします。



県共同募金会からのお知らせ

地域の福祉、みんなで参加



☎ 099 (257) 3750

URL <http://www.minc.ne.jp/akaihane>

じぶんの町を良くするしくみ

22年度共同募金へのご協力ありがとうございました

平成22年度共同募金 目標額と実績額

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	実績額前年度対比		
				増減 (円)	比率 (%)	
一般募金	266,211,000	247,532,587	93.0	△ 6,371,285	97.5	
たすけあい募金 歳末	地域歳末 たすけあい	39,789,000	38,717,254	97.3	△ 3,542,631	91.6
	NHK歳末 たすけあい	7,000,000	5,103,169	72.9	△ 1,248,849	80.3
計	313,000,000	291,353,010	93.1	△ 11,162,765	96.3	

募金の総額

昨年10月1日から12月31日までに共同募金運動にお寄せいただいた一般募金と歳末たすけあい募金の総額は、2億9135万3010円となりました。また、目標額3億1300万円に対する達成率は93・1%となりました。

ご協力いただきました県民の皆様から感謝申し上げます。

募金の配分

一般募金の配分については、公正を期するため学識経験者等で構成される「配分委員会」で配分案を作り、理事会で決定され、社会福祉協議会をはじめとする民間福祉団体、福祉施設、ボランティアグループや、安心・安全なまちづくり活動を行う自治会、災害被災者への見舞金等へ、4月以降に配分されます。

歳末たすけあい募金のうち「地域歳末たすけあい」については、全額が各市町村社会福祉協議会に配分され、それぞれの地域で支援を必要とされる方々への見舞い金品の贈呈や、地域住民が中心となって参加できる福祉サービス事業等に活用されました。

「NHK歳末たすけあい」については、県内の支援を必要とする方がたや児童福祉施設の子どもたち、グループホームの入居者等へそれぞれ希望の品物をお贈りしました。

あじがごうのメッセーヅ

「NHK歳末たすけあい」

和光学園（鹿屋市）

この度、皆様方からの善意の寄付より、HDDコンポをいただきました。

近年は、小・中学生の入所者は少なくなり、高校生が増え、音楽への興味を示すなか、今回の寄付はたいへん有難いものです。早速、年末のクリスマス会で活用させていただきました。みんな大喜びで毎日のように音楽を聴いて楽しんでます。本当にありがとうございました。

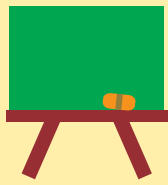


共同募金の助成希望申請受付について

民間社会福祉施設の増改築・補修工事、備品・設備等の整備のため、平成23年度の共同募金を財源とする平成24年度の助成を希望される施設等の申請を受け付けます。希望される施設等は所定の「申請書」に関係書類を添えて、各市町村の支会・分会（社会福祉協議会内）へ提出してください。

受付締切 4月10日 助成決定 24年4月 事業実施 24年4月～25年3月

詳しくは、県共同募金会 (<http://www.minc.ne.jp/akaihane>)、または各市町村の支会・分会（社会福祉協議会内）にお尋ねください。



インフォメーション Information

みなさまのご厚意に感謝いたします。



次の方がたから、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。ありがとうございました。
(平成22年12月～平成23年2月)

○鹿児島県電機工事工業組合
青年部協議会 様



写真左から
車椅子を寄贈された
青年部協議会 専務理事 有村様
会長 永留様
贈呈先代表の日置市社協
事務局長 中村様

○住友生命保険相互会社 様 ○池上 俊 様



同社で作成している「かごしま
365景カレンダー」の配布に伴う
チャリティ募金を寄付された
鹿児島支社長 貞永 智 様
(写真中央)



第19回シルバー文化作品展で「寺
團勝志賞」受賞作品「主にみちび
かれて」(洋画)を寄贈された
池上 俊 様(写真左)

○鹿児島食品二十日会 様



会員のチャリティ募金を寄付さ
れた代表の玉川 浩一郎 様(セ
イカ食品株式会社 代表取締役社
長 左から二人目)と宇野 圭郎
様(株式会社竹之下 代表取締役
社長 左から三人目)

社会福祉施設 しせつの損害補償

ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために!

プラン1 施設業務のための補償

- ① 基本補償 (賠償責任保険、傷害保険、動産総合保険)
 - 基本補償(A)は、法人業務中、法律上の賠償責任が発生した場合、包括的に補償
 - 見舞費用付補償(B)は、賠償責任のない場合の見舞金が充実
 - オプション1 訪問・相談等サービス補償
 - オプション2 施設の医療事故補償
- ② 個人情報漏えい対応補償
 - 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合を含みます)に補償
- ③ 施設の什器・備品損害補償
 - 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
 - 施設の現金等も補償



プラン2 施設利用者のための補償

- (傷害保険)
- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 施設職員のための補償

- (労働災害総合保険、傷害保険、約定履行費用保険)
- ① 施設の労災上乗せ補償
- ② 施設職員の傷害事故補償
- ③ 施設職員の感染症罹患事故補償

◆加入対象は、社会福祉法人等で運営している社会福祉施設です。

- 全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容
- 団体契約のため有利な補償と割安な保険料(掛金)
- 迅速で丁寧かつ適正なお支払い

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。

団体
契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

〈引受幹事保険会社〉株式会社 損害保険ジャパン

取扱
代理店

株式会社 **福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

〈SJ09-08937,2010/02/19〉

広報紙「ふくしのひろば」は
本会のホームページでもご覧になれます。
また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779
E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp
★この広報紙は、共同募金会の協力を得て発行されています。